嘘のやうに暴騰して お魚はまるで藥

釜山空前の高値に府でもびつくりし 冷凍魚で相場調節

【釜山】將兵慰問のため廿萬の府民が一團となつて赤誠をつくす昨今、大陸需要の刺戟は既報の如く日用必需品類の大暴騰を來し、殊に鮮魚、野菜、肉類をはじめ府民が心をつくして勇士に餞けせんとする肌着袢から浴衣下駄などに至るまで一齊に値上りとなり、府民の緊所に思ひがけぬ大當狂はせを與へる天井知らずの値上りは益々たる非難の的となり、足許につけ込む不正商人取締りは今や府民の要求となつた、右に對し府では市場關係方面と協議すると共に取敢す日本冷凍の冷凍魚を市場に出して緩和策を講じたが去る五日の富平町市場の小賣相場は

鯛（百匁）一圓五十錢より八十五錢、ヒラメ（同）一圓廿三錢より五十八錢五厘、スズキ（同）一圓六十九錢より七十八錢、ヒラメ（同）八十四錢五厘より五十二錢の高値を示し、之を中央卸市場の相場と對照すれば十貫目建値で鯛百三十圓より七十圓、ヒラメ九十五圓五十錢より十八圓、スズキ百卅圓より四十圓、ヒラス六十五圓より四十圓相場で平素鮮魚の潤澤をほこる釜山空前の高値となり卸相場と小賣值段に三割程度の値開きがあるのも注意される現象である、これは連日の不漁が影響したものであるが中央卸市場が時局の急迫を他所に無定見、無方針で何等調節方法を講じなかつた結果が府民の財布に深刻な打擊を與へたものである、右について府當局は六日大要左記の聲明を發表した

昨今府內で實價かれる鮮魚と野菜類の價格殊に鮮魚が異常な高値を唱へ府民の台所に影響を及ぼすところが少くないので市場經營の立場上緩和をはかるため努力中であるが最近高値の主な原因は漁獵の夏枯れ時期と過般の颱風のため連日不漁が續いのに反し府內の需要は大量的に激增した結果である、取あへず冷凍魚を變質させて調節をはかることになり、既に約二割程度の値下がりとなつたものもあるので大いに利用して貰ひたい

麥叺に石を混ぜて 斤量を誤魔化す

時局を喰ひものにする不德漢 惡辣に暴利を貪る

【平壤】時局の裏をかく不德漢―最近時局で大變の需要激增し價格の騰貴を奇貨とし府內陣石里五五の穀物商魔頭（三〇）は精米の際取り捨てた小石を叺に混合し斤量を誤魔化し惡辣な手段で暴利を貪つてみたとが發覺し平南署で嚴重取調べ中であるがこの報告に接した道警察部ではこの種の惡德漢は今後嚴重取締ることゝし各署を督勵する筈である

二警官殺しの 密漁支那人

立廻り先を襲つて 犯人の親子を就捕

【新義州】去月二十八日密漁船取締のため新島沖合に出動中密漁船乘組の支那人の暴行によつて二警察官が殉職したが、犯人は當局で不眠不休の活動の結果、五日午前二時犯人等の船が小鹿島に立ち廻つたのを突き止め安東省海邊警察隊の應援で大孤山から我兒で小鹿島に襲ひ犯人の漁船に乘り込んで大格鬪の末逮捕した、犯人は安東縣大東溝第八區西町九七王明田（五）と同人の長男王文選（二七）と判明した

時局講演會

本府の講師 各道へ派遣

本府では時局認識の周知徹底のため朝鮮人有識者二十名を八班に編成し六日から全鮮各道で時局講演會を開催することになつたその班別は次の通り

◇第一班（京畿江原）六日から十三日まで、朴榮喆、崔南善、尹致暎
◇第二班（忠北忠南）十日から十六日まで朴相駿、安寅植
◇第三班（黃海）八日から十二日まで李覺鍾、玄永燮
◇第四班（平南）八月九日から十六日まで高元勳、朴熙道、東載
◇第五班（平北）七日から十八日まで崔麟、李敦化
◇第六班（咸南、咸北）六日から十六日まで曹秉相、金思演
◇第七班（全北全南）六日から十七日まで張憲植、李昇雨、朱耀翰
◇第八班（慶北慶南）七日から十七日まで韓相龍、安浚、孫永穆

沙里院にも 軍援聯盟

【沙里院】各種團體を網羅する軍…

咸北商工 聯合會

次回總會は 會寧に決定

【會寧】明年開催される第十二回咸北商工聯合會の總會は會寧にて開催することに決定した、會期は五月ごろで、會寧商工會では次回役員會で右の準備打合せを行ふ筈である

防護團も結成

【沙里院】山郡事後援聯盟結成式は十日郡廳會議室で擧行の豫定である、邑防護團及び國防婦人會結成式は九日小學校講堂で擧行に決定

兒童の純情

空壜献金や 學用品節約

【吉州】百三十度の暑さをものともせず北支で活躍してゐる皇軍兵隊さんに送つて下さいと德山公普…

熱誠凝る獻金

釜山（將兵家族後援會）へ寄託

一五百圓朝鮮汽船▲五百圓本町迫間保太郎▲百三十圓大倉町鮮銀釜山支店行員一同▲五十圓朝防工場工手一同▲二十圓大倉町齋藤壯太郎▲二十圓本町田中郁二▲二十圓朝鮮町岡本匠衞▲五圓同匠衞女中一同◇國防獻金＝五百圓朝鮮汽船▲五百圓迫間保太郎▲五十五圓朝紡工場工手一同▲三十圓大倉町相互運送店從業員一同▲三十圓匿名▲三十圓大倉町岡本守吉▲五圓五十八錢第一小學校六年生西谷寅、手島仁和夫、上原忠▲五圓十五錢沙上普通學校同窓會員一同▲東萊邑と雲峰果樹分區會では北支將兵慰問袋三百九十三個、雜誌二十九個を四日釜山憲兵分隊へ寄託

興南 十八圓天機里大理敬興南分會▲慰問袋百八十九個と二百六十圓一錢國防婦人會內湖分區▲三十圓山手町組合▲八十五圓國防婦人會工場第三分區（皇軍慰問金）▲六十九圓十五錢國防婦人會大樓里第一分區（防空獻金）▲二百五圓三十七錢工場第四分區（防空獻金）▲四十六圓七十錢九龍里國防婦人分區…

慶州（慶州署扱）

…

香月司令官の 放送に感激

其日暮しの勞働者 血の滲む尊い獻金

【羅津】北支事變の擴大につれ皇國美談は到る處に花を咲かせ、止まるを知らないが殊に最近香月司令官の現地からの放送に刺戟されて羅津ではその日暮しの下層勞働者にまで國防獻金、或は恤兵金として申出る者續出し眞に擧國一致の實をあげてゐる

國際運輸羅津支店では河野支店長以下從業員一同が謂り百圓を、また東町料亭白鶴樓主國枝三八氏は五十圓を何れも國防獻金として四日憲兵隊犯中出た

府內山下組從業、本府斡旋勞働者高文碩外四十名は過般北支の現地から放送された香月司令官の肉聲を聞いて大いに感じ一我等も日本人として默视出來ない」と一人が二十錢宛を醵出して十二圓二十錢を國防獻金として憲兵分隊に持參したが朝鮮人勞働者として日常の生活にも苦しい中からこの赤誠の現れは深く當局を感激せしめてゐる、更に滿鐵建設事務所、羅津重次氏外十五名は小遣錢を出し合せて二圓を恤兵金にと憲兵隊に持參した

これも行商 皇軍慰問

【群山】小學校五年生竹下千恵子…一年生カヨ子さんの姉妹二人は糸や針を賣り歩いて得た利益金十圓に次のやうな手紙を添へ府兵事係に皇軍慰問費…

罪の償ひに 囚人も献金

【元山】刑務支所に服役中の田中稔、天野行男、川島彌三郎、崔斗源の四君は北支で皇軍の活躍を聞いて感激し、四日支所長に對し罪の償ひに働いて稼いだ報酬をそつくり國防獻金したいと申出た、所長以下この美擧に感激し早速手續きをとつたが內譯は左の通り

二十圓田中稔▲三圓崔斗源▲二圓天野行男▲九十錢川島彌三郎

お守札

女學生達が 赤心の奉仕

【平壤】平壤神社では午前九時から午後五時頃まで毎日連日の暑さを物ともせず在支皇軍將士に贈る御守札を大童で整へてゐる、恰も夏季休暇の高女生徒十四名はその手際ぐに出て連日早朝神社に参拜の上潔斎沐浴して皇軍の武運長久を祈りつゝ繊手に一つ／＼心を託した

遺族は悲憤の涙

通州の激戰に花と散つた 咸北出身の金巡査

【羅南】去る廿九日通州保安隊事件で突然兇暴な支那保安隊と交戰大勇戰の末壯烈の殉職を遂げた我が領事館六警察官のうち金東旭巡査（三二）氏は咸北鏡城郡の出身で鏡城普通學校を卒業後會寧商業に入學、同校第一回の卒業として國際通運を經て昭和八年外務省巡査を拜命、吉林を經て昨年通州に轉じた前途有望の警察官で郷里には嚴父金…のほか遺族四人のが急報に初めて涙にかきくれて…

頼母しき小國民

暑いといふな扇子も使ふな 健氣にも愛國運動に活動

【公州】九十四五度の炎天下を公州愛國兒童團の襷つけて數名の學童と共に市內を戶別訪問して、『扇子を使用せざる事、暑いと言はざる事』の宣傳ビラを配布し北支西數十度の炎熱下に皇國のため奮闘する皇國軍人の辛苦を思へば我々國民は、暑い、辛いの言葉さへ口外すべきでない、我々小國民も假令一錢のお小遣も貯へて皇國のために働く兵隊さんに感謝と慰勞の赤誠を捧げませうと、健氣にも小國民の細情の發露をなし正體もハッキリせずただ『誠は天に通ず』と默々として活動、市民を感激させてゐる

盲人の赤心

【釜山】府內瀛州洞…盲人青年團員廿五名は五百千…「吾々は盲人で第一線に起つことも出來ず、思ふ存分活動することも出來ないから」と金五十圓を、同じく府內草梁町鎮南心身協濟團員卅三名の盲人も時局に感激して國防獻金五十圓を寄託した

このほか府內富平町山根太吉氏より一千圓、府內水晶町普通學校生徒三年生は愛國の行商によつて得た石鹸、歯磨、便箋、チリ紙の賣上金利益一圓四十四錢を寄託するなど府民の時局に對する感激は昂まる一方である

として寄託した

このお金は私達姉弟三人で糸や針を賣つて歩いて皆樣の同情によつて集めたお金でございます暑いのに戰地で働いてゐらつしやる兵隊さんに何か買つてあげて下さい

また府內榮町木戶年春君（高一）ヒロ子さん（尋一）府內京町木村迪生君（高一）千代田町荒崎イサ子さん（尋一）の四人も生花を賣り歩き五圓を慰問金として寄託した

ロータリーも起つ

【釜山】二十萬府民を熱血の一團と化した非常時局にあたり、釜山ロータリー倶樂部でも北支將兵慰問のため街頭に進出し全會員をあげて活動することになつたが差しあたり釜山驛前と棧橋、その他に案內と休憩のホールを新設し十分に將兵の便宜をはかる計畫で各機關と連絡をとり六日から活動することになつた

女學生團扇を贈る

【江景】女學生は相携へて戶別訪問し團扇數百本を取纏め郷軍分會を經て皇軍へ贈つた

こめてお札を作つてゐる、この篤い奉仕には關係者一同感激してゐる

軍醫を志願

【釜山】慶南統營郡山陽面美修里金州哲氏（三七）は去る六日釜山憲兵分隊へ二十年間外科醫として實地の經驗を有するから軍醫として北支へ派遣して貰ひたいと願書を提出

慰問袋を贈る

長老教會婦人會…十四個を憲兵隊に…

北鮮出身者 最初の犧牲

【羅南】北支事變の突發と共に某部隊に屬し第一線で奮鬪した邑內美吉町丹下定助君（二）は宙苑の激戰で壯烈な名譽の戰死を遂げ北鮮…

は夫人の外二歳の愛娘が老松町の河野氏宅に假寓してゐる

中山刑務所長の話によると森川君は劍道も初段で責任感強く今度もすでに生還を期せず妻子とも水盃して勇躍征途についたものである（寫眞は森川上等兵）

水盃で出征

森川上等兵 南苑で戰死

禁煙して獻金

江景驛員殉職

永野一等兵戰死

全南警官辭令

國定忠次 (18)

長谷川伸 作　岩田專太郎 畫

清水の鐵（一）

既に末節で知られてゐる野州芳賀郡阿岡の鎭守、大崎神社は、社檜の大きい森が鬱蒼としてゐる中にある。うしろは芳賀沼、左は五行の流れ、行けば田圃がずッとひらけてゐて、いかにも神域を示してゐる。のみならず、眺望がいい。

けふは秋祭の祭りの日で、氏子は、商賈が盛んな土地柄だけ、縁日にはいつも紙手を飾ふ。けふも又例年通り、賑やかに朝が明け、日が午後に廻つたころ、飛んだ事件が起つた。

境内の檐に、見世物小屋が幾つか出てゐる中に挾まつて、覗き機關、飴細工、子供の好きさうな物が、ずらり並んで、露天店を張つてゐる。

空は晴れてゐる、人出はある、ここを先途の商人も興行物も、景氣付けの幟々が祭囃子を伴奏に、鳥居の前後の雑踏が酷くしてひどい。

と、八百屋お七の覗き機關の前で、

「痛ッ」

と、消魂しく呼んだ男の聲が餘りひどかつたので、機關屋夫婦が、叩いてゐた竹の鞭の手をとめた、恰度、

「ストトン、カラリと渡すは日本橋――」

機關師のサワリの前である。

「ああ痛い」

足を踏まれたのだ、卅二三歳の武士、と云つても宇都宮城中の者でなし、眞岡代官所に勤めてゐるのでもない、浪人の芳賀四五郎左衛門は、不案の氣短が酒に醉いと、だれの手にも終へない。それが恰度過ぎて、きういふ奴が、思いことには、けふは祭酒に醉つてゐる。

五郎左衛門に踏まれた自分の足の指が血をすこし噴いてゐるのを見ると嚇と、いつもの氣短で、踏んだものは十か十一の男の子であるのに大人氣に對手どり、

「この餓鬼、武士たる者に疵をつけをつた。うぬッ不埒な」

と、引ッ摑んだ。

子供は驚いて悲鳴をあげた。

見てゐた人達は、いかに、酒臟の悪い五郎左衛門でも、子供のした事ではと思つたのが油斷で、五郎左衛門は惡鬼の形相になり、子供を宙に、一と振り振つた。

「わあッ」

泣く子供の聲が、振り廻されてゐるので波を打つ。居合せた者が、はッとして、四方へ逃げたと、

「えいッ」

と、子供を力任せに抛り出した五郎左衛門が、臨手を揮ひ

「不埒な奴は、いつでもかうしてやる」

手柄を立てたやうな顔をした。

が、子供は死んだ。居合せた者、悉くが立竦んだ。

「何だ賀公羅は。身共に何で、見る、ああッ」

酒臟で摑みにかゝる、その腕へ、老婆が、武者振りつき、

「人殺しめが、この人殺しが――」

「婆、放せ。見い放せ、婆臭いわい」

力に任せて老婆をとつて突放した、が、老婆は泣きながら又も、五郎左衛門に獅嚙つき、

「返せ、返せッ、孫を返せッ」

と泣き狂つた。

居合せた者には、老婆がすぐ判つた、今、五郎左衛門に投殺された男の子は、この老婆の孫だ。

「この人殺しを捉まへてくれ。わしの孫を殺した人殺しを捉まへてくれ」

老婆は泣き喚いた、白髪の多い髷が、見るみる振亂きて、縋みついてゐる、老婆の顔が、見るに忍びなかつた、たれも老婆の加勢に出るものがない、この邊の者は、五郎左衛門の氣の荒いのを知つてゐる、五郎左衛門の親が、代官所の元締と親交があるのも、知れわたつてゐる、五郎左衛門の父が山伏で、腕力にかけて、野州一といはれてゐる、それも知つてゐる、で、たゞの一人も救に起くものが遂にない。

五郎左衛門は、前の、老婆を振除してゐたが、おそれにンの僅か、で、眼を吊りあげ、激しく吠えた。

皇紀二千五百九十七年 昭和十二年八月八日 京城日報 (日刊) 第一萬一六百八十號
京城日報
朝刊 夕刊共十四頁
特許 チルド車輪
蒸氣機関車、ガソリン機関車、貨車、轉車臺、鑛山土木用諸機械一式
岩崎レール商會
PINES パインミシン
パイン裁縫機械製作所 京城出張所
朝鮮みやげにツルチュクきっと人に喜ばれる
明時堂獨特の長期月賦開始
カメラと材料 現像と燒付
カタログ呈上
京城南大門五(驛前) メイジドウ寫眞部 電本四三一四番
麥茸トニク
特約店 木村藥房
慈善堂藥業株式會社
牛田式 噴霧器
專賣特許 保温 保冷 材料販賣 工事請負
京城 伊藤保温工場朝鮮出張所
又々大評判の オール讀物 特輯 ユーモアと怪奇 全部讀切
九月特別増大號・特價六十錢
沈み行く故郷 濱本浩
貯水池となる小河内村の事實報告小說
飛んでもない話 松井翠聲
僕の海軍 德川夢聲
石黒敬七
素性吟味 井伏鱒二
希望の七人 深田久彌
猫によろしく 乾信一郎
颱風居士 弘木丘太
戀と自尊心 谷口清子
膳を忘れたお嬢さん 辰野九紫
コンス活躍記 岩崎榮
犬と音樂 北村小松
慈善 海音寺潮五郎
蒲團 橘外男
燈臺視察船 山田克郎
欄干の死骸 野村胡堂
秋深き高原・溫泉へ執拗な夏の皮膚病
支那兵は弱いか 村田孜郎
地下鐵の決闘
死んだ爪
禁門の變 菊池寛
淺草の肥後守 三角寬
展望車の近衞兄弟
ターキーの拳闘
今太閤と今家康
勝太郎と石黒旦那
幸四郎に來た戀文
團男爵と十六ミリ
辰巳柳太郎と珍優
百枚たっぷり笑ひと諷刺の大快作
特別讀切長篇 青空部隊 獅子文六
キング小說は實話だけでも此の壯觀！
見よ！ズバ抜けて面白い九月特大號！
この顔ぶれ！この大傑作！男も女も、大人も子供も躍り上つて大熱狂！面白いぞ、これは堪らぬと引ッ張り凧！！
萬人驚嘆の生きた事實！
感動實話 超苦難の女性 諏訪三郎
ポンと投げ出した一千圓！
現代小說 曉は遠けれど 竹田敏彦
不思議な血の呼び聲！
悲劇小說 呼子鳥 加藤武雄
美しき狂女と戀の劍俠！
時代小說 江戸五人男 子母澤寬
始めて知った夫の秘密！
戀愛小說 薔薇競技 細田民樹
讀切り小說傑作選
男心女心 惡夢 淺原六朗
意地晴れ無職 橋爪彦七
鯡船奪還 小島健三
男の餞別 山岡莊八
天ケ瀬人柱 平山蘆江
美男俠客 清水の小政 原巖
純情艶歌 光の漣 久米正雄
奇談怪談因縁ばなし
首斬りの用箪笥 邦枝完二
坑内の怪光 串田勝次
魂宿る人形市之助 西澤笛畝
劍豪小說傑作集
名劍音無破り 神谷卓
片手劍法 筑波四郎
示現流薩摩渡り 雪竹半四郎
北支の大立者 殷汝耕
本多光太郎博士出世物語
無名の青年一躍大鑛山主
山と海の遭難實記
山小屋で死の籠城四日！！
魔海の激浪と闘って九死に一生！！
三人の友は死の斷崖へ！！
あゝ青春淚多し！ 花形歌手林伊佐緒氏の身の上秘話
若しも月給が上ったら 細川房彦
アレーと女の悲鳴！
危機一髪の雪江に思はぬ救け舟！
時代小說 乳房祭 小島政二郎
美貌が仇で大騷動！
大岡政談 本町小町 神田伯山
二人の美女に婿一人！
評判小說 現代の英雄 菊池寛
咄！海上の珍事件！
滑稽小說 青春オリムピック 中野實
恐しき惡魔の挑戰狀！
探偵小說 大暗室 江戸川亂步
此の外賞金莫大！大懸賞原稿・寫眞募集と大讀物數十篇！
定價六十錢 到る處で安い面白いと大評判！

國防會議で最後的に長期作戰方略決定

きのふ第二次會議開かる

【南京七日同盟至急報】第二次國防會議は前日のメンバーに西安行營主任顧祝同を交へて蔣介石司會の下に七日午前十時より開會されたが軍政部長何應欽より軍委員會作成の（一）全國國防統一作戰計畫及び軍區の配置（二）中央地方を通ずる戰時體制の兩案を附議討論の結果これを可決してこゝに愈よ全面的抗戰方針と長期作戰方略とを最後的に決定し會議は一時間の後同十一時散會した

けふ具體化を協議

【南京七日同盟】本日の國防會議第二日に於て決定せる戰時體制決議案は中央地方の各機關を戰時配備の下に置くもので八日引續き開會される國防會議は主として戰時體制の具體化につき討議する筈である、なほ本案の實施によつて中央軍令機關の組織機能は著しく擴大强化さるべくまた陸海空軍總司令以下各軍總司令、各路總指揮など戰時職制の成立を見る譯である

何應欽、軍政部長辭任

【上海七日同盟至急報】軍政部長何應欽は豫ねて辭表提出中の處中央は七日之を受理しその後任として軍政部次長陳誠を軍政部長代理に任命した（寫眞は何應欽）

何應欽の辭職原因

【上海七日同盟】何應欽が突如軍政部長を辭職した直接の動因は去る三日中國軍官學校講堂において蔣介石と共に北支の戰備について講演中梅津何應欽協定の責任を問ふといきり立つた靑年將校に毆打されたので直ちに中央に軍政部長の辭職を申出たのである

戰時生産管制

上海の重要産業團體から國民政府へ請願

【上海七日赤星特派員發】上海の市商會、中華工業總聯合會、國貨工商聯合會等十數の主要産業團體は六日緊急會議と代表會議を開き、戰時生産管制問題を協議した結果次の諸件を決議し政府に請願した

一、戰時重要工業生産工場の生産擴張

一、右工場の十八歲以上四十五歲以下の工人の强制勞働

一、右工場に對し國立銀行の戰時融資による金融維持

原料供給その他右諸項に關し政府は直ちに調査を開始し近くこれを法令として公布の筈である

嚴戒裡に川越大使上海着

【上海七日同盟】川越大使は七日午後五時半諸島丸で上海に到着、多羅軍、本田海軍武官、岡本總領事など日支官民多數の出迎へを受け大使官邸に入つた、碼頭には工部局警察、領事館、警察の警戒嚴重を極めた、川越大使は大使官邸において岡本總領事、田尻、日高參事官、根神書記官を招致、南京上海方面における情勢を聽取した

各國訪問は御取止

御恢復を待つて御歸朝

秩父宮兩殿下

【東京電話】秩父宮同妃兩殿下には目下ヘーグにおいて御靜養あらせられるが今後の御豫定に關し七日午後一時二十分宮內省から左の如く發表があつた

宮內省發表 秩父宮同妃兩殿下にはロンドンにおける御任務御終了の後流行性感冒より肺炎の御症狀を拜するに至れりその後御順調なる御經過を見たるもなほ十分御靜養を要するため北歐諸國の御旅行は御中止の上スイスにおいて約一週間御靜養あらせられたり、去る七月三十日スイス御出發、オランダに赴かせられそれよりベルギー、フランス、スイス經由でドイツ御訪問の御豫定なりし所、去る三日オランダ御滯在中兩殿下には御發熱再び流行性感冒の御症狀を拜するに至れり、聖上におかせられてもドイツ滯在中の高橋侍醫御差遣の命ありたり今回は目下のところ御經過に拜される前回の御恢復十分ならざる惧れあるを以て醫師の切なる意見に基き今後の大陸御旅行は全部御取止め十分御靜養の上御旅行に差支へなき迄御恢復を待ち御歸朝のことに決定せられたり、御歸朝の經路及時期は目下のところ全然未定なり

支那兵二、三十名良鄕を攻擊

わが方直ちに擊退

【平津七日同盟】駐屯軍司令部午後五時發表＝六日午後四時三十分、機關銃を有する二、三十名の敵が良鄕に向つて攻擊し來りたるを以て我が方は直ちに之に應戰擊退せり、敵の遺棄死體五名、我が方は損害なし

支那の窮民救濟に溫い思ひやり

皇軍の隣人愛に民衆感激

【天津七日同盟】事變勃發以來我が駐屯軍は支那民衆の生命財産の保護について萬全の努力を拂つてゐるが支那兵と保安隊の暴行狼藉に逃げた民衆は規律正しい日本軍に對し絶對の信頼を寄せ我方の支那窮民救濟の温かい思ひやりに感激してゐる

共産軍、綏遠へ北進

【天津七日同盟】國民政府共産黨の合作方針に基づく朱德を軍長とし南京政府派遣の黄紹竑を政治訓練處長とする共產軍は去る三日甘肅省境より行動を起し果敢な行軍をして陝西、山西省境に進出一部は綏遠に向つて北進してゐるといはれる、右共產軍は五ヶ師二十團を以て編成、この總兵力凡そ五萬三千で裝備は總て充實してゐると傳へられる

冀察委員會は合議制となる

【天津七日同盟】冀察政務委員會は宋哲元が保定に逃走後張自忠が委員長代理となつてゐたが張自忠は兩軍に對して……

對支義勇兵禁止

（ハル米國務長官談）

【ワシントン七日發本社特電】北支事變發生以來米國政府は出來るだけ紛爭の渦中に捲込まれるとを避けんとしてゐるが五日支那側の買辯の手先に踊る故張作霖顧問と稱するハーンが義勇軍募集の看板を掲げるに至つたので、斷乎右行爲を嚴禁するに決定し六日記者團との會見においてハル國務長官は次の如く言明した

「米國市民の外國軍隊に編入乃至は參加することは國法の嚴禁するところである、國務省としては日支紛爭に際し米國民の紛爭當事國軍隊に參加することを禁止するためには可及的に處置を講ずるであらう」

因に米國々法は市民の外國軍隊參加は嚴禁され、これに違反するものは罰金または禁錮に處することになつてゐるが、同法は過去一世紀間殆ど適用されず、先般米國飛行家がスペイン內亂に參加して歸國せる際も一應訊問を受けただけで處罰されなかつたが今度は嚴重適用されるものとみられてゐる

躍る浙江財閥

◇支配權を握る孔祥熙夫人◇西太后顏負けの達者ぶり

事變插話

支那の政界、財界における宋一家の勢力は大したものであるが今度の事變では南京政府は浙江財閥の鼻息を窺はなくては最後の決意がつかぬといはれる位軍費調達を受持つ浙江財閥の威力は絶大なるものがあるが、この浙江財閥の指導權は孔祥熙、宋子文等の宋一家に握られてゐる、ところで、この宋一家の……

海軍省公電

【東京電話】漢口居留民引揚について七日午後海軍省に現地海軍指揮官より左の如き公電が到着した

漢口在留邦人は本七日午後五時迄にその全部（凡そ一千名）を襄陽丸及び宜陽丸に收容し第十一戰隊の一部兵力が護衛して下航することになつた

領事館員引揚

【漢口七日同盟】宜昌總領事館員は奧地から引揚げて來た重慶、沙市、宜昌、長沙各領事館員と共に居殘り殘務整理の上九日の宜陽丸で下江するに決した

―定期敍勳―

【東京電話】見送りでは七日小山衆議院議長以下文武官一千三百三十六名に對し定期敍勳の御沙汰があつた

本府辭令（六日）

人

最終日の貴衆兩院

貴院本會議

杉山陸相

小山議長

けふ閉院式

全力を盡して時局に對處

近衞首相談

英伊接近

細目交涉を開始

海軍武官の服役期間を延長

海軍臨時通譯設置

東西南北

馬山支局開設十五周年記念特輯版

背面地帶産業開發と 工業馬山建設へ

三萬府民足並揃へて勇躍スタート

熱と力に期待は大

京城日報馬山支局開設こゝに十五周年……その辿り來し足跡を顧みる時、たゞ感慨無量に盡きる。しかるに天惠の良港、風光明媚の天和郷、さては銘酒の産地として謳はれる馬山ではあるが、過去十五年間に果してどれだけ伸びたか、もとより港灣に、市街に、幾多の施設にたてそれ〴〵進歩變遷の事象は認め得るとしても、その府勢實力にみるに先進都市に較べて甚だ牛歩遲々たるを免かれないことを痛感させられる。この現象は天然資源の乏しきによることは勿論であるが、天然資源は海に陸にまた〳〵開拓の餘地があり、背面地帶交通の開發される限り幾多の豐富なる物資を集散し港勢の増進は大いに期待し得るのである、幸ひに三萬府民はすでに背面地帶の交通産業の開發の急を叫び、又工業的發展を期待して港灣の埋築を行ひ、工業用水の確立を要求し、延いて港灣の活用を期するなどそれ〳〵その計畫具體化につとめ眞に名實伴にグレート馬山建設の途程に燃えてゐるのである。要するに自然にのみ托した過去の消極から人爲的積極へ…今や晴らしいスタートを切つたところである。從つて馬山は今後の馬山であつて將來の馬山一段の飛躍を遂げるものは三萬の府民そのものにあり、山積する懸案を如何に解決して行くか、要は府民の熱と力の如何にかゝるものであらう、吾人は十五年の過去に於て聊か微力は盡したつもりではあるが、この際府民の一員として府民大衆も歩調を揃へて新時代の馬山、實力ある馬山の建設に勇往邁進するであらう（支局一記者）

酪醸地の誇り

將來の大都市建設上の要素

多分に備ふ特異性

内地の灘と謳はれる馬山の銘酒は需要増加に伴ひ造石高も年々増加してすでに二萬石に達し芳醇内地酒を凌駕し鮮内は勿論遠く滿洲北支方面へ進出し内地にまで押し出さんとする勢ひであり、朝鮮酒造業者は熱心なる研究を續け品質向上を圖るに餘念なく醸造試驗所の設置も漸く具體化せんとしてゐる位であり、現在のところ産業の大宗として馬山の生命線としての唯一なものであり、清酒の外に昭和酒類の燒酎、味淋、再製酒、理研酒の大量生産があり、銘醸地として特異の存在として斷然輸入酒を抑壓するの地歩を占め名聲を擅にしてゐるが、この外に馬山の特異性として誇るに足るものは天惠的に海陸の條件を備へた住宅地としての理想郷であること、これは風光明媚、氣候もよく鮮内の他に遜色なき處なきものであり、從つて別莊地、保養地として或は學都として發展力を期待され、又馬山合浦灣、城趾、行東行省趾、蒙古井の古蹟などの栗九味、月影臺、觀海亭、不動寺、[illegible]巖、馬金山兩溫泉等の名勝遊覽地の内外に點在し今後の飛躍を期するに大都市建設上の要素を備へてゐること[illegible]

特筆すべき貢献

こゝに感謝し前途を祝福

馬山府尹 藤江諦一

總督政治茲に二十有七年の歳月は流れた、その間幾多の波瀾があり曲折があつたとはいへ、この輝かな歳月の間に在つて成し遂げた朝鮮[illegible]

出席の人々

藤江府尹、西田道會議員、堀川重砲聯隊長、道會議員[illegible]、副議長加藤徹一郎、府會議員松本多藏、同本田種五郎、同西野泰民、同山下正道、同李[illegible]、同賀甲揭、同上原榮、同張在斌、中村殖産銀行支店長、道立醫院長醫學博士森久雄一郎、副院長、坂田中學校長、高木女學校長、德永稅關長、山内電氣會社支店長、河野商船組支店長、宇野田澤山汽船出張所長、濱田米倉支店長、松永驛長、大島稅關監長、通鹽日本鑛業支店長、原田酒造組合長、太田三井物産出張所長、藤原商業銀行支店長、德永[illegible]、藤井朝運會社助役、岩田安次郎、目加田平三郎、奧田萬藏、松本正、村崎郷軍南分會長、加藤昌原郡守、外各新聞代表者（本社側）栗津通信部長、柴藤馬山支局長

港・馬山の躍動を聽く座談会

頼母しき跳躍ぶり

さて懸案をどう解決する

最近我が馬山の發展は目覺しい進の過程を辿つてゐる半島の[illegible]して誇る釀造工業のみでなく[illegible]馬山に結ぶ上に重要の役割を[illegible]中央地緊縮を契機として府[illegible]中央移轉、中學校の設立等[illegible]目下工事中の港灣修築、或は[illegible]凡ゆる意味にかて我が馬山は[illegible]跳躍せんとしつゝあるこの秋[illegible]馬山支局では支局開設十五周年[illegible]

柴藤本社支局長

正に言論界の覇者

京日支局十五周年に際して

慶南道會議員 西田木惣市

京城日報馬山支局開設滿十五周年を迎へられその記念に「馬山振興座談會」を催され又記念號も發刊されることは誠に慶賀に堪へない、京城日報社が朝鮮文化の啓發に盡された貢獻の偉大なるは[illegible]（藤江馬山府尹）

これはニュース

九州馬山間の海底トンネル

實現の將來を期待

當松道會議員

商工會議所

設置と機能

西田道會議員

私は元商工會長を勤めてみたことがあり[illegible]

馬邱線

私鐵として建設を促進

常松道會議員

馬邱線促進

目加田平三郎氏

柴藤支局長

事變に關するデマは陸軍刑法で禁錮處分

涼み台の自慢話御用心

非常時局に惹起する銃後の興奮に…つけ込んで半島にデマが盛んに放送され事情を知らぬ人々に不安を與へ、近ごろでは悪質の流言蜚語が亂れ飛び暗い影を投げかけてゐるので朝鮮憲兵隊司令部ではデマ取締に眼を光らせ陸軍刑法第九十九條「戰時又は事變に際し軍事に關し造言蜚語をなしたる者は三年以下の禁錮に處す」を發動ビシ／＼處分し銃後の明朗化を圖ることになつた、涼み臺を賑はす素人の北支事變の知つたかぶりの自慢話もウッカリすると禁錮三年以下の此嚴しい陸軍刑法第九十九條に縛られ「一寸憲兵隊まで來い」とやられる、憲兵隊司令官の談「で管下憲兵隊では街に亂れるデマの調査と放送元の探査を開始した

二宮司令官談　「近ごろ作意的と思はれるデマが亂れ飛び民心を不安に導く惧れがある今までは寛大な眼でこれを見逃し警告にとゞめて來たが銃後も戰時體制下にある今日、國家或は軍事に不利益なデマを放送する者は陸軍刑法で斷乎取締ることにした、なんの氣なしにする話にも慎重な注意を拂つて欲しい」

時も時、鍾路街に 筆太の不穩文字

直に某方面へ活動

七日午後九時ごろ京城の心臟部鍾路街の十字路和信デパートの前に直つて新聞の呼賣りをしてゐる…某氏に大書した紙片が貼られてゐる…人の少年の前に非國民的な文句を…るので邦人の安危が心配されてゐる…る時だけに民衆は慨然その紙片を中心に人垣を造り騒ぎたてゝゐるのを目撃した鍾路署員は直に群衆に事實無根なることを告げて歸宅させた上、無根の事實をしかも非國民的文句をつらねて大書した非國民を檢擧すべく目下呼賣り少年の調べによつて某方面へ檢擧の手はのばされてゐる

御稜威會

十日から三日間——子供御稜威會を開き佛徒の赤心を捧げた京城南山本願寺では今度大人の御稜威會を十日から三週間毎朝五時開くことになつた尚同寺では府内の戰死者の家庭を訪問供養してゐるが、十六日午後一時から同寺で追悼會を執行、十六、七の兩夜八時から同寺で時局講演會を催し本社の北支トーキーニュース映畫も公開する

眼の廻る愛國部に 更に四麗人が登場

手辨當で献金の受付

…愛國部のメンバーは——國防婦人會の代表として京城漢江通京城…子さん（二〇）、京城漢江通十三…四郎氏夫人初子さん（三七）の…人、それに愛國婦人會から京…町十七四宋留司氏令嬢愛…さん（一九）と同じ番地の加藤敬…氏の令嬢初子さん（一九）の二人…それ／＼代表として選び、四人が思ひ／＼辨當を下げて仲…く愛國部の机に竝び、地方か…ら集まつた淨い金を圓道はぬ樣に一々帳簿に記入したり、算盤を入れたりしてゐる

78聯隊 面會が出來る

けふから許可　【正午—午後六時】

龍山步兵第七十八聯隊では在營將兵の面會を禁止してゐたが、八日から從來のやうに面會を許すことになつた、面會時…

…るが、一日に平均五百件宛の献…ましい銃後の熱誠に心から喜んで…好く愛國部の机に竝び…

北支避難同胞に 慰問班を派遣

本府頼りに案を練る

北支在留の半島同胞は二萬に及び今次事變によつて避難して來た者は天津、秦皇島、山海關に集結して我が皇軍並に本府その他によつて手厚い保護を受け、その行屆いた本府並びに皇軍の保護に感激し避難民の中の壯者は擧げて皇軍の手となり足となり或は義勇軍を組織して第一線に第二線に感激の活躍をつゞけてゐるが、本府では朝鮮人有力者數氏を以て慰問班を組織し北支に派遣し皇軍の慰問を兼ねて活躍する半島出身の日本人の慰問を行はしめると共に、鮮內における銃後の熱狂振りを人々に傳へると共に北支の實際を充分に調査研究せしめ半島一般大衆に傳へ、時局に對する認識を闡明徹底せしめることとなり、目下本府外務部、軍、局を初め各關係と協議中でその結果によつて直ちに人選を行ふことゝなつた

防備艦艇 合流匪を擊退

【新京七日同盟】駐滿海軍部發表　臨時海軍日本防備隊所屬艦艇は松花江沿岸一帶の警備任務に服し、かねて行動中の所日本艦艇はハルビン下流五十六キロの…

學園に防護團

暑中休暇明けに結成

京城府では學園を空襲の慘禍から救ふため、特設防護團計畫を進めてゐたが、まづ第一、二兩高女、女子實業、城東中學校、京城藥學の…學校では夏休み明けと同時に結成することになり、七日午後府廳に關係者が集合協議した、非常時の學園は武裝をして敵機の脅威を防止しようと、學園死守の悲壯な決意を固めて學校防護團が生れることになつた

鐵道局の增員

鐵道局では新規事業の進展に伴ひ判任官以上の官吏四百九十四名及び鐵道手百二十七名の增員を行ふこととなつたが、七日附で增員に關する第一次の辭令を行つた、書記百十名、技手百一名、鐵道手五十五名、教諭一名、鐵道醫一名、合せて二百六十八名で殘りは十二月に辭令する豫定である

【ブカレスト六日同盟】モスコー…

蘇空輸機墜落

…我に損害なし、尚防備隊は依然鴨江沿岸の警備に任じ乘員意氣昂揚…

…家船口の對岸に蟠居中の合流匪約百五十名を攻擊すべく陸戰隊を上陸せしめ、水陸兩方面より之を攻擊山寨多數及び通用船五隻を燒却し主力に殲滅的打擊を與へ擊退した

またも豪雨襲來 安奉線大混亂

更に四ケ所に浸水

【安東電話】六日土砂崩れで線路埋沒し、途に不通となつた安奉線鷄冠山と秋木莊間はその後益々降り募る雨に復舊の見込み立たず、必死の作業に努めてゐる折柄、七日朝から襲つた豪雨は次の四ケ所に浸水し**安奉線は全く蜂の巢を突ついたやうな混亂に陷つてゐる、**即ち湯山城と高麗門間の鐵橋上三尺浸水、四台子、劉家河間、蛤蟆塘驛北方線路も浸水し**地盤ゆるみ何時崩壞するや測り知れず、**同時に鐵道關係の電信電話は全く不通に陷り各驛頭の連絡は全然斷たれてしまつた、このため北行の列車は全部が東行切りとなり、約四百名の乘客は安東驛に收容し驛の炊出しを受けてゐる

教員十名行方不明

【安東縣特電】安東水害は沙河鎭の堤防決潰のため全市街に擴大し、滿鐵附屬地は約三分の一水びたりとなり七日正午現在で浸水家屋五千、避難民一萬六千に及び十七ケ所の避難所に收容した、又江岸通の浸水家屋三百七十戶、避難民二千、大谷溝は五百戶に及んでゐるが、これ等避難民は市內七ケ所の避難所に收容し目下炊出しを行つてゐる、尚は安奉線沿線附近の水勢も大きく六日夜來全く水に包まれ鳳凰城夏季講習會に出席中の教員十名は行方不明となつた、目下交通、通信杜絕して詳細は不明である

颱風よ 高氣壓を追拂へ

さもなければ秋はまだ／＼
けふ立秋、暑さは續く

【仁川電話】八日は立秋！暦の上では秋立ち初めるところであるがこの灼熱地獄ちや秋の氣配すら湧いて來ない、北支には未だ颱風がウロついてゐるし小笠原島には高氣壓が頑張つてゐる、颱風が勢力を增して高氣壓を驅破すればあの懷しい高空の秋空が訪れるのだが氣象は秋には緣が遠い、七日午後六時本府觀測所尚野技師の話

「小笠原島に高氣壓が頑張りその翼は半島を覆つてゐます、かなり優勢なものです北支には未だ颱風がウロついてゐるし當分この猛暑は續きます、颱風が高氣壓を驅退すれば、その彼方には秋が待ち受けてゐるのですが今のところ高氣壓は頑へさうにありませんね、まあ當分覺悟をきめて諦めるんですな」

一プラハ・ソヴエート定期旅客機は六日ルーマニヤ、トランスシルバニヤ地方サラツエル附近の上空を飛行中突如火を發し墜落、チエコスロヴアキヤ人飛行士二名及びソヴエート人乘組員四名は慘死

…帝人事件の論告は…背任事實から論を進め、午後一時十分再開、枇杷田檢事起つて「國務大臣、大藏次官、日銀總裁等が帝人株取引に關係したる事情」を述べ、次いで島田茂氏以下臺灣銀行關係者の業務權限を說いた後、買受團側の被告が帝人株買受け運動に狂奔せる事實を詳述し、これにて背任罪の論告を終り二時十分閉廷、次回は九日愈々瀆職關係に入る

十時三十五分再開、引續き枇杷田檢事の論告に入り本件事犯の重點たる增資、增配、株式上場問題について論じ、株式取引所が當時帝人株の上場を希望してゐたこと及び認可の權限を有する當時の商相中島男（被告）が背後にあつたことにつき痛烈に論じ十一時四十五分休憩

十時十五分休憩

帝人事件の論告

背任罪に痛棒

【東京電話】帝人事件論告第二日は七日午前八時半開廷枇杷檢事起つて事件の個々に亘る論告に入つた、枇杷田檢事の落着いた聲は…

六人も慘殺して なほ裟婆に未練

農學校長一家殺し犯人上告

山東生れ平北江界郡江界面石古洞大工王冊生（三〇）至藩正（三〇）兩名は江界農林學校建築場に從事中、解職されたのを怨み昭和十年十二月六日夜同校々長河野龍三氏方に忍び込み、同氏夫人花子さん（三四）長男裕君（一三）長女道子さん（一七）次男淳君（一〇）夫人の妹松野マツヘさん（三七）同家書生横地鉛義君（一九）等一家六名を斧で慘殺し、證據を湮滅するため同家に石油をぶつかけて放火したもので新義州、平壤で一、二審とも死刑を宣告されたものである

失職を怨んで深夜兇刃を振ひ農學校長一家六名を慘殺し世間を震駭せしめた兇惡支那人二名は一、二審とも死刑を宣告されたがこれを不服として七日京城高等法院に上告して來た

第一回府民 水泳大會

第一日の成績

第一回京城府民水上競技大會第一日は七日午後一時より京城運動場プールで擧行、成績左の通り

◇百米平泳豫選通過者　鈴木（京師）沐（京師）鐵田（龍中）岡崎（鐵道）太田（龍中）小貫（京師）吉田（大衆）河部（遞信）吉村（鐵道）

◇五十米自由型豫選通過者　三宮（鐵道）赤司（龍尚商）島袋（櫻井小）竹中（京師）山本（善商）赤石（遞信）

◇百米背泳豫選通過者　熊澤（京師）三浦（龍中）大宮（龍中）有川（遞信）細地（京師）

◇二百米平泳豫選通過者　鈴木（京師）岩崎（龍中）齊藤（龍中）岡崎（鐵道）吉川（龍中）太田（龍中）

和智（大衆）

◇百米自由型豫選通過者　三宮（鐵道）宮本（大衆）山本（善商）明神（鐵道）鄭（一般）木村（龍中）

◇百米背泳豫選通過者　有川（遞信）大宮（京師）細地（京師）熊澤（京師）三浦（龍中）和氣（京師）

◇女子五十米自由型決勝　1福田加壽子（女實）四二秒二、2石井スエ（女實）3德久チセ子（第一）

◇女子五十米背泳決勝　1北村キミ（女實）四七秒八、2工藤美都代（第一）3大形美智（第一）

◇女子百米平泳決勝　1田村輝子（女實）一分四二秒七、2米田文子（女實）3石田米子（女實）

◇女子四百米自由型決勝　1岡田明子（女實）六分三八秒六、2岡國幸子（女實）3千石チャウ子（第一）

◇女子三百米メドレー決勝　1女實A（北村、田村、岡國）五分二二秒二、2第一A（大形、水野、德久）

◇學童百米自由型決勝　1小川（櫻井）一分四七秒、2白子（元町）3小林（訓盛）

◇學童五十米平泳決勝　1小川（櫻井）四八秒六、2福岡（元町）3神田（櫻井）

◇學童五十米背泳決勝　1岡野（元町）五三秒、2村上（櫻井）3安達（元町）

◇學童五十米自由型決勝　1村上（櫻井）四四秒、2塚本（元町）3河村（元町）

☆……北支の風雲愈々緊張を帶びた七月七、八日、六萬三千通といふ記錄的な電報を取扱つて新記錄を作つた京城郵便局は事變と共に文字通り不眠不休の活躍を續けてゐる

☆……七月十二日から同月末までの廿日間の總取扱數は八十九萬五百通で、前年同期に比し三十一萬七千通の超激增振りを見せ一日平均四萬通に近い激增、着信、中繼で電信機のキイも擦り切れさう

暴支膺懲に奮迅の 皇軍を語る熱辯

北支戰線報告講演會

本社主催

本社主催の「北支戰線報告講演會」は七日午後七時から京城府民館大講堂で開かれた、定刻前既に滿場立錐の餘地なきまでに押寄せた二千餘の大聽衆は、生々しい北支の第一線から歸つた從軍記者之介中佐、熊谷愛一少佐の火をはく熱辯に血を躍らせた、松田本社販賣部長の開會の辭に次で登壇した熊谷少佐は「暴戾廿九軍を膺懲せよ」と題して廊坊事件の…

宋哲元が停戰協定に押した判の印肉がまだ乾かぬうちに不信支那の名を遺憾なく發揮して廊坊事件を惹起し、一度びハッキリした我軍の猛擊に遭ふや、忽ち八萬の廿九軍が五千の死傷といふ大損害を蒙つた經緯を痛快に述べて嵐のやうな拍手を浴びる

八萬の將兵中五千人が死傷して殘る所は僅かに四萬、三萬五千は行方不明になつたわけで、これは支那軍の支那軍たる所以だと喝破すれば滿場哄笑

我軍の戰死者二百四十四名中將校卅一名、下士官卅八名で兵五人に將一人の戰死者を出す軍隊は世界にたゞ日本軍だけだと皇軍の士氣を生々しい實例を以て述べる廊坊、南苑の激戰を報道した櫻井本社記者の弔は實に歷史的な名文だと絕讚して一時間餘の熱辯を閉ぢ降壇する、續いて渡邊中佐が登壇、「百卅度の戰野を廻りて」と題して武士らしい訥辯で〇〇にかけ南苑部隊の戰の前の緊張振りを說けば滿場の聽衆は固唾をピタリと止めて思ひは炎熱の北支に辛酸を嘗める皇軍へ飛ぶ

蒸し風呂に押し込まれ釜をかけられたやうな焦熱地獄、炎天下實に百卅度から四十度、夜一時二時になつても八十五六度から九十度、宿舍の窓からはムーッとするやうな熱風が吹込む、喉が渴いても眞つ黑に濁つた北支一種の惡水だ、皇軍は幽靈を流すときも生水で口をそゝぐさへ嚴禁されてゐる有樣

…想像だに許されない…告痛も銃後の家庭に居つて初めて苦痛と考へられるので前線にあつては苦痛でも何でもない、將兵はたゞ緊張の二字にハリキッてゐるのだ「第一線の將兵は極めて元氣であります」中佐の素朴な一語に感激の大喝采、熱々燃え上る中佐の熱辯は熱して止まる所を知らず、滿場を興奮の坩堝と化して最後に「矢の走るは弓の力なり」と日蓮上人の言をひいて皇軍の活躍は銃後の國民の熱誠によることを絕叫して降壇、次で諸君した…ばかりの最近の戰況をおさめた北支事變ニュース六卷を上映、十時十五分、府民の一致の緊張をうながす有意義な講演會を終つた（寫眞は講演の會場）

けふの天氣

晴、驟雨模樣（七日最高溫度）三一度五分

內鮮寫眞電送

豫算十萬圓を計上して
先づ京城、釜山、淸津へ

大阪、京城間の寫眞電送は既に二回のテストを行つて優秀な成績を擧げたので遞信局では十三年度より內鮮間寫眞電送を行ふべく約十萬圓の豫算を計上要求することに決定した

これと同時に取扱規則に料金その他の規程を改正立案するため目下關係法規を取寄せて立案を急いでゐる

實施の曉には新聞社其他の依賴は元より官用其他の犯人の手配寫眞など早急を要するもの等や商業用電送をなしその近代的科學の活躍を廣範圍に活躍せしめることゝなり、その取扱ひ地は當分の間京城、釜山、淸津に固定した機械を使用し逐次全鮮主要都市に及ぼす方針である

白き手の人々 〔122〕

吉屋信子作　富永謙太郎繪

時の償ひ（三）

東中野の驛を下りると、まつは不案内のこの邊をきよろ〳〵しながら、踏切を渡つて行つた。

秋も深んでその邊の道端の欅の立木から、黄ばんだ葉がさら〳〵と舞ひ落ちてゐる。

彼女は幾曲りも道角を曲つて、段々小さい住居が並んでゐる細い道へ入ると、あちこちの門の表札を近寄つては、眺めながら、ゆつくり〳〵と、一つの家を尋ね歩く様子だつた。

彼女が、かなり疲れる程行つて、その道角の奥まつた家を心當てに覗いて見ると、粗末な門の柱に、藤瀬馬と、新らしく小さい表札が、如何にも遠慮したやうに打付けてあつた。

まつが門の戸を開けて中へ入ると、門から、玄關までは、ほんの一間程のへだたりがあるだけだつた、（まあ、こんな手狹なお家に――あの廣いお邸、御門から玄關まで、曲へ廻つてゆく砂利の道があつたのに――）まつは考へると、涙が目頭に浮ぶのだつた。

まつは、玄關の前を遠慮して、勝手口に廻つた、直ぐ右手だつた、そこの曇り硝子の粗末な戸を、まつはおづ〳〵と引きあけた、そこには直ぐ水道栓や流台が見え、粗末な板の間が白々と眼に入つた。

「御免下さいまし」

まつは、少し怯けたやうな聲を出した、だが中からは何にも答へる聲が無かつた。

「御免下さいまし」

まつはもう一度、聲を強く張りあげた、（まあ女中さんをお使ひにもならないのかしら）

まつは、佗しく土間に立つてゐた、やがて襖の障子ががらつと開いた、絢子がグレイのスカートに、濃茶のセーターを着た、すらつとした姿を現した。

「絢子樣」

まつは胸のつまつた様な聲を出した。

「まあ、まつなの」

絢子は呆然として、彼女の姿を見下して、聲をのんだ。

「絢子樣、暇月の女将さんから、此方へお引移りの事を伺ひながら、どうしてもお伺ひしたくなりまして、上りました」

まつは、それ以上、言葉が續けられないで、胸が一杯だつた、

「まつ、よく來て呉れたわね、さあ、お上り、お母さまもいらつしやるのよ」

絢子は、手を取らぬばかりにして、まつを上に引き上げた。

「奥樣にお目通りが、叶ひませうか」

まつは、眼をしよぼ〳〵とさせた、

「まつ、まだ、そんな事言つてるの、今は私達もうお金持でも何でもなくなつたのよ、こうした小さい家に引越して、お父樣の會社が復興する迄は、どうなるか分らないのよ」

絢子はそんな不幸の中にも、何か自分を失はない、はつきりした口調だつた、

「絢子樣、何と申上げてよろしいやら、ほんとにあれ程立派なお邸もすつかりお手放しになつて、會社の爲に、皆投げ出して整理遊ばすんださうでございますね」

「えゝ、お父樣は紳士なのよ、株主の方に御迷惑をおかけしたくないつて、拂込金だけはお返しして、もう一度、裸一貫で、モスリン業で身を起すつて御決心なの、工場の職工の人達の中にも、後悔して、昔の低賃金でも、お父樣を助けてゆかうつて人達が少しは殘つて呉れたさうよ」

「さ、さようでございますか」

おまつが聲を慄はせた時、奥の部屋から[illegible]子夫人のらしい聲がした。

京日棋戰選粹（4）

五段 小澤了正　先二番 一段 岡谷三男

黑三十一より白四十六迄

先天的達見　覆面道人

此所征關係

昨日の黑三十一は、本日の白三十二を、例へば三十六の點ならず、次に黑三十二と出られる。その征當りの挺身突擊であつた。それで白三十二と當つて、次に黑三十三だが、白三十二は、黑に三十二と出られては、白が一擧大敗だからである

要塞に圍まれた勢力圈

そして黑三十三は、以下四十五となり、黑は堅固な要塞を築き、右側に白が立寄れない。即ち右上隅迄は、黑の勢力圈内である。白が（い）などと偵察飛行にやつてである

餘地を殘せ

本來なら、黑（ろ）と遮斷し、黑は中央に大勢百萬石……とは一寸話が大きいが、若手丸子でも黑地五十目位は擁へる迄なら、だから白三十四、三十六と斷じ次に黑三十九なら、白は輕く三十八の斷に走つて、黑するに要害を四十五などの、一路でも上方に要害などりでを築かせない。即ち白が右側に打込む餘地を遺すのが、白の良策である

明日の波紋光景

處で白四十六と、その着標は流石に高段の先天的見透しである。といふ次第は、白四十六の一石投下によつて、全局に大波紋を描き、それは明日に現れる、白に有利の妙趣の場面だが、先づ碁道の縱横原理を次に聞かれよ

明瞭な決算數字

即ち白四十六を打たぬ前、其處に白丸八子、黑丸八子あつて、白八子は既に固定の白地を收め、されば黑八子の外部にその白地だけの資格責任があつて、外部の黑模樣を白が消せば、自づと分る白は黑字、黑は赤字の決算數字だからである

ラヂオ

物語（八・一〇）　爆彈三勇士

西村樂天

「計男君相變らず元氣溌剌として勉強のことでせう、異郷にて案じながら勝利を祈りました出發の際久留米驛頭において激勵の言葉をもつてはげまして下された私は、かくまで有難き情けに本當に感謝させられ、永劫に忘れる事の出來ぬ印象付けられました、さて感激の中に一路上海東部上陸しました、そして今元氣で軍務にいそしんで居ります、計男君にも早く成人なされ天晴れ軍人と成られんことを異郷の空にてお祈りします、上海派遣〇〇〇團〇〇〇隊陸軍工兵一等兵江下武二　宇谷計男君」

「アヽお父さんお母さん久留米驛で僕に〃はまれ〃と、血染のハンカチ呉れた兵隊さん分つたよ」

宇谷家親子三人はこの手紙を神棚に奉つて江下さんの武運長久と皇軍の勝利を祈つたのは昭和七年七月二十三日朝「號外々々」といましき鈴の音

二十二日午前五時〇〇工兵隊東部小隊の江下、北川、作江各一等兵は三メーターの爆破筒を以てまんも頑强に流せし鐵條網を爆破三氏は壯烈なる最期をとげた

（中略）さしもの十九路軍應答の敵兵は呆然として己れ達の命のなくなるのを知らず逃ぐるによしもなく殆ちすくみのまゝの全滅でありました。時は昭和七年二月二十二日午前五時勝利の萬歳高く我が日章旗が勝の空にへんぽんとしてひるがへりました

常識講座（一一・二〇）　皇道教育に就て

皇風社主幹　三浦一郎

皇道とは申すまでもなく皇國の道を云ふのであつて、皇道教育とは皇國の道に即した教育を申すのであります、明治初年より今日に至るまでの我國の一般教育は所謂自由主義的教育であつて、たゞ人間として一人前になればよいと云ふ單なる社會人としての教育に止まつてゐたやうな感がするのであります、近頃流行の社會教育、社會教育といふ言葉がこれを代表してゐるといつて良いと思はれる、然るに私達は社會人であり、國際人であり、世界人であると同時に日本人であるといふことを忘れてはならないのである、日本人には日本人なる人間としての教育以外に、臣民資質の特殊教育を必要とするのである

ラヂオ見學（9・30）　明治神宮外苑プール

外苑プール！この名を聞いたゞけで胸が躍るやうな氣がします、若い水泳選手の登龍門として幾多の世界的水泳選手を生んだ外苑プール！世界的競技が何十回となく行はれ近くは日米水上競技が全世界のファンの血を沸かさんとしてゐる外苑プール――この外苑プールを前にして、日本水上競技聯盟の名監督松澤一鶴先生を中心にして面白いラヂオ見學を行ひます

箏曲　秋の曲（八・四〇）

菊仲米秋

前彈　その、早苗とりしがいつの間に　合　稻葉そよぎて秋風ぞ吹く　合　久方の天の河原の渡し守　合　君渡りなば楫かくしてよ　合　月見れば、千々に物こそ悲しけれ、合　我身ひとつの秋にはあらねど　合　山里は秋こそことにわびしけれ　合　鹿のなく音にをさましつつ　手事　散らねども兼ねてぞ惜しき紅葉ばは　合　今は限りの色とみつれば　合　秋風の、吹雪きに立てる白菊は　合　花かあらぬか浪のよするか

國民歌謠（七・三〇）

オリオンコール　アンサンブル　伴奏

保健運動讃歌

北原白秋作詞　小田進吾作曲

山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ

いざや起て鍛へよ、高鳴るこの腕、おそれじ寒暑も、行く〳〵く、山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ

空に見上げえたつ、稍の仰びゆくいきほひ、我等も鍛へり、山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ

常に持て光を、張りきれ我が胸、上海け海けあふれよよろこび、山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ

いざや起て鍛へよ、劍と我が身を、磨かれ明日に、前へ入るな、山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶよ

◇

▲右の歌は九日から十四日まで午後零時二五分の國民歌謠に於ても放送される

ラヂオのプロ

八日（日）

第一放送

午前六時（東）ラヂオ體操
同六時二五分（東）全國ニユース
同七時　天氣見込
同七時一分（仙）夏の小鳥
同七時二〇分（東）ラヂオ體操
同九時二〇分（城）氣象通報（濟津はローカル）
同九時三〇分（東）ラヂオ見學
同一〇時（東）日曜禮拜―東京市本郷弓町本郷教會より中繼―　司會　日本組合本郷基督教會牧師　須賀鹿之助　說教　勝利ある生活　須賀鹿之助
同一〇時四〇分（京）講演　夏の害虫と益虫　京大農學部助教授　湯淺[illegible]
同一一時一〇分（大）海外市況
同一一時二〇分（城）常識講座　皇道教育について　三浦一郎
同一一時二〇分（東）講演（濟津）　米、麥、玉蜀黍　江藤[illegible]
正午（東）時報
午後零時三〇分　ニユース
同五〇分（東）ラヂオ體操
同一時　滿洲より（新京）滿洲新歌曲　唄　李香蘭　編曲・指揮　榊原[illegible]

謠曲の午後

同一時二〇分（東）一、八島　シテ　武田喜男　ワキ　高橋通　地謠　武田喜男・外
同一時四〇分（東）二、松虫　シテ　[illegible]　ワキ　伊藤[illegible]　地謠　[illegible]・外
同二時（東）都市對抗野球大會（第[illegible]
同二時（大）三、融　シテ　大槻十三　ワキ　大西信久　地謠　大槻十三・外（球なき場合謠曲及吹奏樂放送）
同二時二〇分（東）四、鵜飼　シテ　高瀬壽美三　ワキ　[illegible]　地謠　高瀬壽美三・外
同二時四〇分（東）五、船辨慶　シテ　梅野[illegible]　子方及びワキ　梅川[illegible]　地謠　梅川[illegible]
午後三時（東）吹奏樂　大東京吹奏樂團　指揮　平野圭永　一、行進曲「砲火の下に」二、歌劇「騎兵」序曲　三、ロマンス　四、行進曲「愛國」五、大陸軍行進曲
同四時　ニユース（氣象・釜山・濟津）
同六時　産業ニユース
同六時三〇分　夏休みラヂオ双六（第一日）振り出し大阪
同七時　ニユース・天氣見込
同七時三〇分（東）國民歌謠　オリオンコール
同七時四〇分（東）日曜特輯ニユース演藝　北支事變軍歌集―北支の空―其他　東京リーダーターフエル　フエライン
同八時一〇分（東）物語　爆彈三勇士　西村樂天
同八時三〇分（台灣）水十夜（第七夜）基隆港の海の音
午後八時四〇分（大）箏曲　秋の曲　箏本手　菊仲米秋　箏替手　菊成[illegible]
同八時五五分（東）連續講談（第二日）寛永三馬術・向井蔵人の巻　大島伯鶴
同九時三〇分（東）時報外
同一〇時（城）普通（釜山・濟津）靈山會相　李彦[illegible]・外

第二放送

午後零時五〇分　唱劇調の午後　[illegible]
同六時三〇分　[illegible]
同六時五五分　修養講話　[illegible]
同八時　脚本朗讀　[illegible]
同八時三〇分　小春香歌外　[illegible]
同八時五〇分（平）[illegible]　李彦[illegible]・外
同一〇時　普通

あすの聞き物　九日（月）

午前七時一分（東）朝の修養　[illegible]
午後零時五分（東）二絃琴と尺八の詩歌　文學博士　佐々木信綱
同六時（大）天然記念物めぐり　大阪府、兵庫縣、奈良縣、和歌山縣
同八時（東）浪花節　慶安太平記　[illegible]
同八時三〇分（松）水十夜（第八夜）宍道湖嫁ケ島の波
同八時四〇分（東）獨唱　中川牧三
同八時五五分（東）連續講談（第三日）[illegible]　大島伯鶴

京城日報

號外

昭和十二年八月八日（明治卅九年九月十一日第三種郵便物認可）

京城府太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話本局（2）一一八一番
振替口座 三〇〇番
編輯兼發行人 兒島吉治
印刷人 小川三之介

皇軍の前に敵なし

【支那駐屯軍檢閲濟】

【右上】廿九軍の置土産―敗走の跡に殘された彈藥を支那保安隊の手で東便門より搬出

【右中】漢口日本租界の背後に俄に築造した支那軍の壘

【右下】南苑の敵兵營に遺棄された廿九軍の軍旗や銃器

【左上】意氣揚々と○○に向け進發の皇軍

【左中】戰場に閑日月あり―○○市街の一段落で我が居留民の子供たちと和む兵隊さん

【左下】出動前の廿九軍

天津京城空輸八日著

この號外は本紙に再錄致しません

佛伊國交 調整工作
伊國乘出す

【パリ七日發本社特電】英伊兩國の接近がチェンバレン、ムッソリーニの信書交換以來次第に實現に乘らんとしつゝある際、駐佛伊國大使ヴイットリオ・チェルッティ氏は六日ショータン佛外相を訪問「伊國政府は目下英國政府との接近を考慮中である」旨言明すると共に佛國政府との國交調整をも希望するとほのめかした、伊國政府が佛伊の國交調整に積極的に乘り出した理由も無論チェンバレン英國首相が駐英伊國大使グランヂ氏を通じてなした勸告によるものであることは明かだが同時にイタリー政府としても地中海の安全に際してはドイツの無制限[illegible]にいさゝか信頼し得ぬことを悟[illegible]たゝめ西歐諸國との緊密政策へ轉換するに至つたゝめと見られる。たゞしフランスとしては過去二ケ年間の經驗に徵して、容易にイ[illegible]を信頼する能はず、政府筋では少くとも次の三項目に就き佛伊間に諒解成立せぬ限り伊側の接近工作に直ちには乘り出さぬのではないかと見られる

一、バレアル諸島よりのイタリー兵の撤退
一、一九三五年一月ラバール、ムッソリーニ間に締結された北アフリカ協定の實行
一、エチオピアに於ける佛國[illegible]に確認の安全保障

因に北アフリカ協定は[illegible]、[illegible]定は一九三五年一月七日ム首相、ラ外相間に締結された佛伊協定の一部をなすもので

一、チュニス在住イタリー人の身分問題
一、佛領サハラ一部讓渡
一、佛領ソマリーランド一部讓渡
一、アヂズ・アベバ鐵道共同經營
一、エチオピアに對する伊國進出並に植民の自由保障

等に關するものだが、伊國側はその後第一項の身分問題に新要求を出したためその儘となつてゐたものである

秩父宮兩殿下 御經過御良好

【ロンドン七日同盟】秩父宮同妃兩殿下には數日來御旅行先ヘーグで御靜養中であるが殿下には七日午後御離床、妃殿下には御經過御良好と拜する、但し何分にも御旅先のこととて十分御看護申上ぐるため七日ロンドンから邦人看護婦一名がヘーグに急行した、なほ兩殿下の御容態につき松平武官長は七日ヘーグから電話で次の如く語つた

殿下には本日御床離れ遊ばされました、妃殿下には三十七度前後、御熱は御高く一兩日中には御床拂ひの御豫定であります、來週半ばには遅くも週末には充分御旅行に御差支へない程度に御快癒の趣きで一旦スイスのグリンデルワルトへ御歸還、長途の御旅行に御心配もないやう今度は十分の上にも十分御靜養遊ばされる御豫定で　聖上陛下におかせられても御旅行御變更の御裁可がありました中村軍醫少將、高橋侍醫と共に御看護申上げて居られるやう言上した次第です

公使館當局謹話

【ヘーグ七日同盟】ヘーグ駐箚日本公使館當局は秩父宮同妃兩殿下の御病狀につき七日謹んで左の如く語つた

兩殿下には二日御揃ひにて世界少年團大會に御成り遊ばされましたが、その後輕微な御風邪にて御靜養遊ばされた、但し殿下には既に御全快、妃殿下のみ未だ御離床までに御快癒遊ばされてゐない、ここ數日中には御全快の御様子である

首相を御慰勞

【東京電話】長き遅りでは第七十一特別議會も滞りなく終了、八日閉院式が行はれたの で、この日近衛首相に對し御慰勞の思召により清酒一樽並に香魚一折を下賜された

廣田外相參内

【東京電話】近衛首相病氣引籠り中のため廣田外相は八日閉院式終了後午前十一時卅分宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ勅語を奉じ閉院式勅語を奉讀し滞りなく式を終了せる旨奏上、更に特別議會の經過並に結果について縷々伏奏、御下問に奉答して退下した

◇【右上】大うろたへの上海の支那人たち—開戰の噂に安住の地を求め家財を持つて右往左往

◇【左上】凄慘の通州に於ける我が居留民會議

◇【下】北平我租界近くの支那軍根據地爆撃の剎那

敗殘の三十八師に 逃亡兵續出す
廿九軍分裂の危機

【八日天津發藤井特派員】保定に集結せる第卅七師と第卅八師の敗殘兵は最近馮治安が軍長に就任以來給與問題の不公平から軍毎に軋轢對立を生じ三十八師部内兵士の逃亡する者は日を逐うて増加してゐる敗殘兵はいづれも蘆溝橋附近及び南苑で手ひどく我軍に叩きつけられた爲め極度の恐怖心から戰意を失ひ統制は全く紊れてゐる第廿九軍長馮は嚴重なる軍律の下に抗戰を強調して最後の一戰に臨まんと狂奔してゐるが効果は少い、且つ馮治安、秦德純、宋哲元の三者間に於ける意見も相違し抗日戰力針に就ても同様の狀態にあり、第廿九軍は上下から全く分裂解消作用を起しつゝある

支那共產黨と蘇聯 軍事協定成立說
ブリユツヘル元帥起つか

【八日天津發藤井特派員】北支事變勃發以來國民黨と共產黨間に於ける提携は急速に成立し國共妥協による全支抗日救國戰線が確立された折柄、同時に國府代辨たる中國共產黨と蘇聯との間に軍事協定が新たに成立したと傳へられる、即ち中國共產黨中央執行委員會委員長毛澤東は過般陝西省延安府より祕かに蘇聯に入りモスコーに急行したが、スターリンと會見の結果對日共同防衞の軍事協定が成立した、その主なる項目は

一、蘇聯は中國共產黨を極力支持し中國に於ける抗日人民戰線強化に努力す

一、抗日戰のため武器彈藥を出來得る限り支給す

一、外蒙古人民勞農共和國の強化に力を注ぐ

等であるが、既に毛澤東はモスコーより外蒙古ウランバートルに向ひ同地で極東赤軍總司令官ブリユツヘル元帥と會見したと言はれる、而してこの結果ブリユツヘル元帥は極東に於る對日軍事作戰を樹て自ら指揮するものと見られるが、今や中國の抗日戰線は往年の聯俄容共政策時代に復歸した形があり、蘇聯の極東作戰と共に今後の成行は注目されてゐる

長谷川部隊 戰死者凱旋

【天津八日同盟】團義方面における長谷川部隊の戰死者大尉士山九郎、中尉吉田多三郎氏以下四十柱は八日午前十時天津驛、戰隊へ悲しい凱旋の途についた

對支義勇兵禁止を ハル米國務長官再言

【ワシントン七日同盟】アメリカ失業軍人の對支義勇兵應募問題は七日午後ハル國務長官と新聞記者との定例會見において再び問題となり記者が「本問題につき日本政府より應募禁止の確言を求められたか」と質問したところ、之に對してハル長官は六日の言明を繰返し次の如く述べた

本問題については日本政府から何らの申出に接してゐない、しかし外國義勇軍參加禁止に關する法律は現在日支紛爭に關聯して起ることあるべき如何なる事態にも一貫して適用されやう

數千名が應募
眉つば報道

【サンフランシスコ七日同盟】故張作霖の軍部顧問ラツセル・ハーンなる男の抗日援華義勇軍募集の報道は可成り眉つばものだがことを好むアメリカ人には次から次へと話題を提供して相變らず黄色紙を賑はしてゐる、七日もハーンの側近者が語したとして日々通信社の傳へるところは「義勇兵志願者は續々として絶えず主として中、西部諸州失業在郷軍人から數千名

海運自治聯盟に 自治的統制を警告

【東京電話】北支事變の進展と共に本邦船腹は著しく不足を告げ運賃暴騰と物資運輸困難とに惱まされつゝあるが、遞信省では船腹調整と運賃維持を期するため海運自治聯盟に對し聯盟結成の本義に鑑み先づ以て海運界の自治的統制に圖るべく若しこれが不可能なれば遞信省は已むを得ず海運の戰時的國家管理に乘出す旨正式に通告、聯盟の活動を期待して情勢を觀望してゐるが、過般の沿岸貿易特許により外國船及び關東州置籍船の就航、本邦中に廻水すべき近海航路船舶及び遠洋航路船の近海就航、支那貿易頓挫による關係船腹除剩等々、事變による船腹の不足は大いにおいてこれを補ひ得るので今直ちに國家管理の方法に出でずとも海運界の自治的需給作用によつて圓滿な船腹調整が出來るものと見られてゐる

將兵慰問のため 衆議院代表派遣

【東京電話】衆議院各派においては八日午後二時より院内に各派交渉會を開き北支事變に活躍する將兵慰問のため衆議院議員代表派遣につき協議した

の應募があり、その中には一千餘名の飛行家が含まれてゐる」とある、振つてゐるのはイリノイ州カイロの男で彼が隊長の飛行隊四十人を率ゐて義勇軍參加を申出でたとのことである

學務部長會議 を十二日招集

【東京電話】政府はさきに地方長官會議を招集して今次事變の重大性を全國民に徹底せしむる方策を講じたがその後北支の情勢は更に緊迫化し全支那に及ばんとしてゐるので、愈々擧國一致の精神的總動員を行ふ必要を生ずるに至つた

冀東政府通州慰問

【北平八日同盟】冀東政府通州慰問使王厲民は七日夕到北平着、八日午前七時北平發自動車で通州に向ひ軍隊を慰問した

通州事件の 眞相を放送
安藤（同盟）特派員

【天津八日同盟】通州において萬死に一生を得た同盟通信社北平特派員安藤利男氏は八日午後一時より二十分間天津放送局を通じ冀東政府保安隊の叛亂と殘虐極まりなき邦人虐殺事件の眞相並に安藤特派員の奇蹟的脫出經過を放送した

結果、内務省は更に十三日午前八時より内相官邸に全國學務部長を招集し學務部長會議を開催、馬場内相、安井文相より事變その後の經過を報告各地方においてもますます銃後の守りを固くするやう訓示を行ふことになつた

輸送制限緩和について
—既報訂正—

鐵道局では既報の通り輸送制限による公衆への不便緩和を期し、京元、平南、東海中部の各線では輸送力の許す範圍内で一般小荷物並に貨物を取扱ふことゝなつた（既報は誤り）

即ち（イ）南（ロ）京釜線下り便のもの（ハ）京元線中浦以南（京城方面）發、鐵原以遠（元山方面）着のものは制限を加へ

これ以外のものは大體平常通り受託される

姉弟で獻金

可愛い三人姉弟の獻金——京城新堂町四一三、師範附屬小學校兒童廣田禮子さん、貢君、妙子さんの三人姉弟は八日午前本社を訪れて『之は私達がお小遣をためておいたものです、御國のために働く兵隊さんに上げて下さい』と涓滴貯金箱取りまぜ五圓を皇軍慰問金として寄託した【寫眞】右から貢君、妙子さん、禮子さん

避難船顛覆し 八名濁流へ
うち四名は救助さる

【新義州電話】八日午後二時四十分安東と新義州の眞ン中にある鴨綠江中の中の島から新義州に向つて避難中の渡船が顛覆し、乘船してゐた八名の中四名は救助されたが、他の四名は濁流に呑まれて行方不明になつた

古莊司令官赴任

【東京電話】古莊新台灣軍司令官は八日午前九時東京驛發つばめ號にて赴任の途についた

山岸決勝で棄權

【サザンプトン＝ニユーヨーク＝七日發同盟】メドウ俱樂部招待庭球トーナメントシングルス決勝山岸對ボビー・リツクスの試合は七日午後ロングアイランドの同俱樂部コートにおいて舉行、わが山岸選手は前に試合中右腕の筋肉を痛めたが苦痛を忍めて試合に臨み過般シープライト招待シングルス準決勝における雪辱を期して頑張り二セットの苦闘たゲームをよく堪へ忍んだが二セットダウンの後棄權の餘儀なきに至つた

リツクス（六—四、六—三、棄權）山岸

揚子江岸邦人 全部引揚終る

【上海八日同盟】九江在留邦人全員は七日午後十一時九江發の日清汽船竹陽丸に乘船上海に引揚げた、これで口、沙市、南京、蕪湖など揚子江沿岸在留邦人は領事館員その他特殊の者を除く外全部引揚げを終了した譯である